

速度取締指針

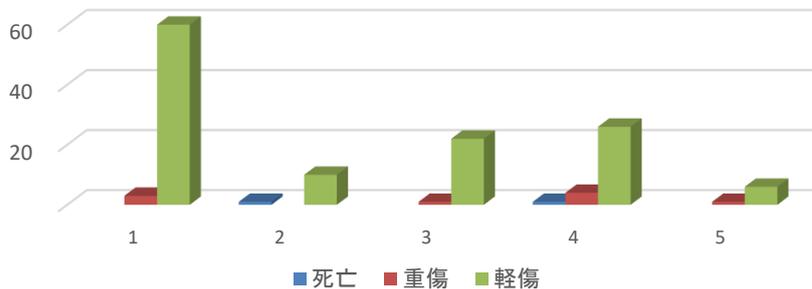
千歳警察署の速度取締りの重点

路線	時間帯	地域	規制速度
国道36号	12時～14時	市街	指定速度(50km/h)
早来千歳線	10時～12時 16時～18時	市街	指定速度(50km/h)

重点以外の路線や時間帯であっても、必要に応じて取締りを実施します。

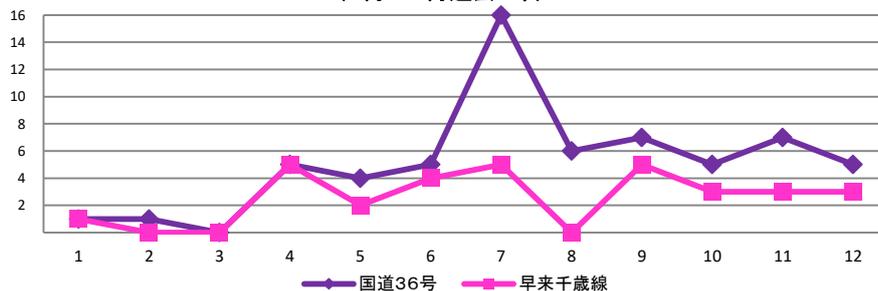
千歳警察署管内の交通事故実態等

路線別人身交通事故発生件数(4月～6月過去5年)



- 過去5年の人身交通事故発生件数を主要道路別に比較すると、国道36号、道道早来千歳線、道道江別恵庭線の順となっています。
- 発生件数に対して死亡・重傷事故の割合が比較的高い国道36号と道道早来千歳線を速度取締重点路線としています。

国道36号・道道早来千歳線時間帯別人身事故発生状況(4月～6月過去5年)



過去5年の国道36号と道道早来千歳線の時間帯別人身交通事故発生状況を見ると、国道36号は12時から14時に、道道早来千歳線は10時から12時16時から18時に多発しています。

道路交通環境

- ◆ 千歳警察署は、千歳市と恵庭市の2市を管轄し、管内には新千歳空港が所在しており、道内交通の要衝となっています。
- ◆ 取締重点の国道36号は、札幌と地方都市を結ぶ主要国道で、大型車両の交通量が多いほか、レンタカーを利用する旅行者も多くなっています。また、千歳市街地を横断する道道早来千歳線は、大型商業施設が建ち並んでいることから交通量も多くなっています。
- ◆ 郊外には支笏湖などの観光地があり旅行者等の往来が多く、また鹿などの野生動物が道路を横断する際の衝突事故は全道的に見ても多くなっています。

～ 昨年(令和4年4月1日から令和4年6月30日)における千歳警察署管内人身事故の特徴 ～

人身事故は総数51件でそのうち84.3%が市街地で発生しています。事故類型では、車両相互の衝突事故が62.7%を占めており、交差点及びその周辺で多発しています。

原因別では、前方不注意など安全確認不足によるものが60.7%を占めているほか、一時不停止、信号無視、歩行者妨害等の違反が21.6%を占めています。

その他の交通指導取締りの要点

速度取締りのほか、市街地における交差点違反、シートベルト違反の取締りを強化します。